

# 令和元年度 第2回 貸出文庫新着案内

予約受付開始：令和2年3月11日（水）午前9時から

書名	著者	出版社	頁	内容説明
むらさきのスカートの女	いまむら 今村 なつこ 夏子	朝日新聞出版 (2019.6)	158p	近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性が気になって仕方のない“わたし”は、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で彼女が働きだすよう誘導する。狂気と紙一重の滑稽さ。変わりえぬ日常。“わたし”が望むものとは。 第161回（2019年）芥川賞
ひぞく 飛族	むらた きよこ 村田喜代子	文藝春秋 (2019.3)	212p	かつて漁業で栄えた、朝鮮との国境近くの島でふたりの老女が暮らす。イオ92歳とソメ子88歳。厳しい海辺暮らしとシンプルに生きようとする姿に胸を打たれる。傑作長編小説。 谷崎潤一郎賞（2019）
夢見る帝国図書館	なかじま きょうこ 中島 京子	文藝春秋 (2019.5)	404p	樋口一葉に恋をし、宮沢賢治の友情を見守り、「かわいそうなぞう」の嘆きを聞いた…。日本で最初の国立図書館の物語を綴りながらわたしは、涙もろい大学教授や飄々たる元藝大生らと共に思い出をたどり、幻の絵本「としょかんのこじ」の謎を追う。
うず 渦 妹背山婦女庭訓 魂結び（イモセヤマ オンナ テイケン タムスビ）	おおしま すみ 大島真寿美	文藝春秋 (2019.3)	361p	江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂・道頓堀。大坂の儒学者・穂積以貫の次男として生まれた成章は、浄瑠璃の魅力に取り付かれ…。「妹背山婦女庭訓」や「本朝廿四孝」などを生んだ人形浄瑠璃作者、近松半二の生涯を描く。 第161回（2019年）直木三十五賞
いかれころ	みにみ ちこ 三国美千子	新潮社 (2019.6)	152p	南大阪のある一族に持ち上がった縁談を軸に、わがままな母を甘やかす本家の祖父母、学生運動をしていた婿養子の父、精神を病んだ叔母、因襲に縛られた親戚の姿を幼女の視点から鮮やかに描く。 三島由紀夫賞 新潮新人賞（2019）
ひやくねんどろ 百年泥	いしい ゆうか 石井 遊佳	新潮社 (2018.1)	125p	チェンナイで100年に一度の洪水。こうなにもかも泥まみれでは、どれが私の記憶、どれが誰の記憶かなど知りようがないではないか？洪水の泥から100年の記憶が蘇る。魔術的でリアルな新文学。 第158回（2017年）芥川賞
おうごんやかい 黄金夜界	はしもと おさむ 橋本 治	中央公論新社 (2019.7)	371p	資産家に最愛の人を奪われた東大生・貫一。一夜にして許婚者と金と家を失い、地べたを這う「金の悪鬼」となった。壮絶な彷徨はやがて、裏切りの末路と交差する…。明治期のベストセラーで尾崎紅葉の絶筆作『金色夜叉』を、鬼才・橋本治が現代に蘇らせる。

・1タイトルにつき20冊所蔵しています。

・申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当

\*上記内容説明は「トーハンマーク」から引用

TEL：048-523-6291（代表）

FAX：048-525-2667（図書館協力担当直通）